

# 1. 学校名 第8回全国中学校総合文化祭事務局担当校 弘前市立第四中学校



6月  
中体連壮行式で、応援エールを披露する応援団の雄志。卓球部など、全国レベルで活躍する部活動もあります。

4月  
弘前市立第四中学校。第8回全国中学校総合文化祭では事務局担当校として、また、生徒会も大会の準備・実施の中心を担う学校として意気込んでいます。  
平成19年度の四中の1年間を紹介します。



## 2. 学校の紹介

平成19年度 前期生徒会長 境 孝次郎

一人ひとり個性的な仲間達が出会い、色々な失敗に試行錯誤しながらも力をあわせて創ってきた歴史ある四中です。友情を大切に感謝の心を忘れず、四中生としての誇りをもち、60年の歩みをしっかりと受け継ぎながら、次の世代のさらなる発展への橋渡しとなるよう頑張っています。  
生徒会では「新生」～限りない力、未来の翼を今大空へ～をモットーに活動してきました。「新しく生まれ変わる」という意味があるこのモットーの様に、四中も新たな歴史をスタートさせていきたいと思えます。

60周年記念誌 四中今昔物語  
「創立60周年～還暦を迎えて～」より



9月  
文化的活動の集大成「四中祭」三日間のプログラムの中でも盛り上がるのは、学級の仮装発表。様々な工夫をこらしながら、四中祭テーマ「華舞」を表現しました。

8月  
今年の弘前ねぶた祭では、四中60周年を記念したねぶたも、津軽の魂のふるさと、ねぶた祭には多くの四中生も参加しています。総文祭も「ねぶた祭」同様の盛り上がるよう願っています。



## 4. 文化的活動

部活動では、合唱部、情報科学部、ボードゲーム部、文芸部、家庭科部、吹奏楽部、読書部、美術部、演劇部が活発に活動。  
特に、吹奏楽部はアンサンブルコンテストで県大会に出場。また、演劇部は四中祭で創作劇を披露した。二年目を迎えた合唱部も各コンクールに参加するなど、活動の幅を広げつつある。  
行事では、5月の写生大会、10月の合唱コンクール。9月の四中祭は「華舞」をテーマに数々の表現活動がうまれた。

10/13には、「60周年記念式典」では、吹奏楽部、合唱部、津軽三味線、後期生徒会が「いのちの祝祭」を表現。大きな感動を生み出した。



10月  
第四中学校は平成19年に創立60周年を迎えました。記念式典の中では、「いのちの祝祭」と題する表現活動を披露。地域の中で生きていく四中生の今に思いをはせました。

四中祭では、吹奏楽部、合唱部演劇部が市民会館のステージ発表を披露。喝采を浴びました。総文祭でも開・閉会集会や舞台発表で全国の仲間と出会うことを楽しみにしています。



## 5. 青森大会へのメッセージ

平成19年度 後期生徒会長 成田 拓真

「全国中学校総合文化祭」は、全国の中学生が、日頃取り組んでいる文化活動・芸術活動を発表し合い、互いの交流を深め合う場。今年も、ここ弘前市にその舞台が移ります。  
わたしたち第四中学校生徒会は、大会運営の中心的な役割を担う学校として、大会を成功に導く取り組みが期待されています。

昨年12月には、四中を会場に開かれた「弘前地区生徒会幹部交歓会」で、この全国大会のテーマについて話し合い活動を持ち、「仲間と奏でる いのちの鼓動」という案を弘前地区各生徒会に提案し、了承されました。また、大会の公式ポスターも四中の仲間が手がけています。

この大会が、四中生が「さらなる高みを追い求めていく」ひとつのきっかけになればよいと思います。



2月  
これは入学説明会の一コマ。津軽三味線の演奏披露を行いました。この中には、秋の全国コンクールで見事優勝した生徒も。総文祭でもライブ演奏する予定です。お楽しみに。

12月  
全中祭テーマ「仲間と奏でる いのちの鼓動」は四中で開かれた弘前地区幹部交歓会の分科会で話し合われた案にもとづいています。  
四中生徒会で原案を作成し、弘前地区全ての中学校にアンケートを実施、決められました。



平成20年8月20日（水）、21日（木）  
**第8回全国中学校総合文化祭**  
弘前市民会館・弘前文化センター  
でお会いできることを楽しみにしています。



3月  
全ての活動の集大成、卒業式。「四中生で良かった」という生徒会会長の答辞に感動が広がりました。  
四中は今、弘前で一番の学校を目指し、全校が一丸となって前へ進んでいます。

平成20年度は「大志」～さらなる高みを追い求めて～を新たな生徒会テーマに、さらに活動を進めていきます。